

報道関係各位

2019年9月26日

「ホワイト物流」推進運動に参画 効率的で持続可能な物流の実現に向け自主行動宣言を提出

株式会社 LIXIL は、国土交通省・経済産業省・農林水産省が推進する「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、持続可能な物流体制構築の実現に向け、自主行動宣言を9月26日に提出しました。



(写真左) LPRO 総会にてグループワークで意見を共有する風景、(写真中央・右) 自動化したキッチン及び浴室の物流倉庫イメージ

昨今、トラック輸送におけるドライバー不足や労働環境の悪化、調達コストの上昇など、物流を取り巻く環境の厳しさは深刻化しており、さらなる物流効率化とドライバーの負荷低減が喫緊の課題となっています。

LIXIL は運送会社さまと緊密に連携し、物流センター、工場から毎日約 4,000 台のトラックでお客さまへ商品をお届けしています。日々の業務の中には、長尺で重たい商品など難易度の高い積込み・荷下ろし作業を伴う場合や、施工工程に合せた柔軟な配送の対応が必要な場合もあります。このような状況に対応し、品質・安全の向上、さらには作業負荷低減につなげるため、主要運送会社さま約 200 社と協働で、LIXIL 運送事業者協力会 (LPRO : LIXIL Professional Transporters Association) を設立するなどさまざまな活動に取り組んでいます。

また、ドライバー作業負荷の軽減に向けて、商品の出荷状況をドライバーのスマートフォンで見られるようにし待機時間を改善する取り組みや、トラックの混雑を緩和する物流センターの車線増設、伝票チェックへのバーコード導入、荷扱いしやすい梱包への改善などを実施しています。

LIXIL は、将来に向けて安定供給体制の構築に向けた重点施策を反映した自主行動宣言のもと、一部商品のユニットロード化や荷捌きの省力化に向けた治具開発の推進、施工店さまとの協力による着時間指定の緩和などに取り組むことで、物流効率化およびドライバーの負荷低減に向けてさらに推進していきます。

■自主行動宣言の項目

- | | |
|---------------|-----------------|
| ①物流の改善提案と協力 | ④物流システムや資機材の標準化 |
| ②パレット等の活用 | ⑤治具開発による作業負担低減 |
| ③運転以外の作業部分の分離 | ⑥他メーカーとの共同配送 |

■株式会社 LIXIL 常務役員 物流・購買統括部長 鎌内 浩司のコメント

「メーカーとして安定的かつ高品質な配送は基本であり重要なミッションです。業界におけるドライバー不足や高齢化による労働環境の変化といった社会課題の解決は急務ですので、国をあげての運輸業界への働き方改革への取り組みに賛同し、LIXIL の商品を安定的・効率的にお届けすることを実現していきたいと考えます」

<参考資料>

■ 自主行動宣言の内容

取組項目	取組内容
① 物流の改善提案と協力	取引先及び物流会社との調整・協力体制を構築し、ドライバー拘束時間及び負荷低減を推進します。
② パレット等の活用	パレット・治具などを活用したユニットロード化の展開により作業負荷低減を推進します。
③ 運転以外の作業部分の分離	運転以外の付帯作業の分離と最適化により、ドライバー拘束時間の低減を推進します。
④ 物流システムや資機材の標準化	積み込みから出荷・納品状況までの工程進捗が見える化し、ドライバーの待機・滞留時間低減を推進します。
⑤ 治具開発による作業負担低減	重労働であるトラック荷捌きや倉庫作業などの省力化・自動化に向けた取り組み、治具開発・導入を推進します。
⑥ 他メーカーとの共同配送	荷量の少ないエリアを中心に、企業間の垣根を越えた他メーカーとの共同配送を協議・検討・推進します。

■ 「ホワイト物流」推進運動について

深刻化が続くトラック運転者不足に対応し、国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保するとともに、経済の成長に寄与することを目的としています。トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化を通じ、女性や60代以上の運転者なども働きやすい、より「ホワイト」な労働環境の実現に取り組む運動です。4月から、国土交通省・経済産業省・農林水産省が、上場企業及び各都道府県の主要企業約6,300社に対し、参加の呼びかけを開始しました。